

きのみ

令和5年
7月21日(金)
NO.11

文責：佐々木



“命”と“時間”を大切に

—明日から27日間の夏休み—

約4か月にわたる1学期が今日で終了。2校時には、体育館で終業式が行われました。

新型コロナが5類へと移行し、子どもたちの生活も少しずつ制限が解除されるなど、変化が見られ始めた1学期となりました。中でも、授業参観は参観人数の制限なし、また、PTA親子レクは4年ぶりの開催（2年生は秋）と、子どもたちの姿を多くの場面でご覧いただくことができました。

終業式の中では子どもたちに、「“命”と“時間”を大切にした夏休みにしましょう。」と話しました。長い休み期間、交通事故や水の事故から身を守り、また、“夏休みだから”とだらだらした生活にならないよう、時間を意識し、計画的な毎日を過ごしてほしいと思います。

保護者のみなさま、1学期中のご協力ありがとうございました。



終業式 児童代表による作文発表【2年・6年】

一学きをふりかえってと
夏休みにがんばりたいこと

二年 I・A

ぼくは、一学きをふりかえって、できるように
なったことが二つあります。

一つ目は、さんすうの水のかさのあらわし方
です。リットルやデシリットルなどのたんいをつか
って、水のかさをあらわすことができるようにな
りました。

二つ目は、国ごの点や丸、かぎの書き方です。
文しよを書くときに点や丸、かぎをつかうと分
かりやすい文しよを書くことができるのだと知
りました。かぎをつけるときの書き方がとくにま
ちがえやすかったので、がんばりました。

夏休みにがんばりたいことは、けいさんです。
さんすうで、はやくけいさんできるように、夏休
みのしゆく дайなどの
もんだいをたくさんれ
んしゆうしたいです。



一学期がんばったことと
夏休み中がんばりたいこと

六年 O・K

ぼくが一学期にがんばったことは、水泳の授業で二十五メートルを泳ぎ切ったことです。今までは、水中で息を吐いてしまい、水面から顔を出しても、空気を吸うことができなくて、苦しくなつて、いつもプールの真ん中で立ってしまいました。そこで、顔の上げ方に気を付けて練習したら、呼吸が楽になつて、二十五メートル泳ぎ切ることができました。そのおかげで、水泳の授業が楽しく、好きになりました。

次にぼくが夏休みがんばりたいことは、一学期に書けなかった難しい漢字を夏休み中にこくふくすることです。一学期はかんちがいをして、間ちがったことがあります。だから夏休みは、漢字スキルに出ってきた十画以上の漢字を、ひと勉に五十回書きたいと思つています。そして、確かめるために、漢字スキルにあるテストを使って最終チェックをしたいと思つています。



地域とともに歩む学校 — 第1回学校評議員会 —

今年度の学校評議員会が19日(水)に開かれました。学校評議員の方々に様々な視点からご意見をいただき、地域とともに歩む学校、信頼される学校づくりに努めてまいります。また、来年度設置される「黄海小学校運営支援協議会」の組織運営等について多くのご意見をいただきました。皆様、1年間よろしくお願ひいたします。



専門家の先生から学ぶ～「食育」「下水道」

6月27日(火)、2年生は、給食センターの菊池先生から「三色食品群」について教えていただきました。当日の給食で使われている食材をもとに、3つの栄養群のバランスが取れた献立が準備されていることを知った子どもたち。食への関心が一層高まりました。



7月10日(月)、4年生は、県下水道公社の兼平先生を講師に「下水道出前授業」にのぞきました。授業の中では、「マンホールのふたがなぜ丸いのか」や「家の中で最も汚れている排水管はどこか」など、身近な話題から水の大切さについて学ぶことができました。

